

## 【資格の大原】 2021 年宅建士試験 合格体験記



N o b u y u k i   Y u i

油 井 信 幸

2020年 完全合格週2コース・入門パック受講  
2020年 宅地建物取引士試験 合格

地元金融機関に約 40 年間勤務。支店長としてご活躍され退職。第2の人生をスタートさせるべく宅建士試験にチャレンジ。当初は独学で勉強をしていたが、「絶対に合格したい！」との思いから大原宅建士講座を教室通学で受講。授業中の真剣な眼差しと共に、授業終了後、確認したいことがあれば必ず講師に質問する熱心な受講姿勢が印象的。コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言が発令され休校となった以外は1日も授業を休むことなく出席。その結果、本試験では41点でみごと合格！

宅建士試験に合格した今、資格を活かして「地域の『空き家問題』にも取り組みたい」と益々エネルギーに社会貢献にご尽力される油井さんに、この度、合格体験記を寄稿して頂きました。

### 『やればできる！』

令和2年12月2日「令和2年度宅地建物取引士資格試験」に合格する事が出来ました。  
まず初めに、宅建士講座に携わって下さった大原学園の関係者の皆さま、そして何よりも静岡校宅建士講座の講師を務めて頂いた石田先生には大変感謝しております。改めてお礼申し上げます。

さて、申し遅れましたが・・・

私は、令和2年度 資格の大原 宅建士講座「完全合格週2コース・入門パック」の受講生です。  
令和元年に長年勤務していた金融機関を退職して第二の人生をスタートさせようと思い何か資格を取

得し退職後のキャリア形成を考えておりました。以前より「宅建士試験」に興味があり、また、次年度の民法改正も相まって、独学我流で挑戦しましたが、見事【不合格】となりました。本試験には手応えを感じつつも一抹の不安を抱えて臨んだ試験でありましたが非常に悔しい思いをしました。試験結果を顧みて反省材料は幾つかありましたが、その中でも特に2つの主要因を考えました。一つ目が、「計画的な学習が出来ていなかったこと」、二つ目は、『権利関係』に時間を費やし過ぎてしまい『宅建業法』・『法令上の制限』等への時間が不足してしまったこと』でありました。『権利関係』は時間を掛けた割に得点に結び付かなかった事も反省材料でした。

悔しさの熱が冷めないうちに【再挑戦】を決意したものの、反面、独学我流に限界を感じていた事もあり各種広告やホームページで検索し、大原学園静岡校に社会人通学コースがあることを知り、受講料も割引制度が利用出来るため、早速、石田先生と面談し『資格の大原静岡校』への入校を決めました。入校を機会に自分を奮い立たせ気持ちをリセットしモチベーションを向上させるため「完全合格週2コース・入門パック」を選択し【“ゼロ”】からのスタートを自分に課しました。まさに、本気になったら大原ですね(笑)



## “直伝 大原流 合格への道”

『虎の巻 その一 “分身の術”・・・復習に全集中！！』

### ◆自分流の計画は単純・明確に！！

1年目の失敗から得た教訓として、自分流の学習スタイルをパターン化していなかった事が挙げられました。とにかく週2日(火曜日・木曜日)の授業スケジュールに合わせた学習スタイルを考え、授業の翌日は授業の重要ポイントのマーカー部分を声に出して一読後、トレーニング問題集を繰り返し解いていきました。即ち、前半での計画とは授業翌日の復習をパターン化して行きました。

## 『虎の巻 その二 “煙遁の術”・・・大原式の煙に撒かれろ!!!』

### ◆大原式学習ガイドを信用！！

テキストの<講義進行予定表>を常に意識し授業に臨んで行きました。そのために授業は絶対に休まないと決め、試験日までの日程は授業出席を最優先に取組んだ結果、全て出席することが出来たことが一番の【秘策】だと感じています。

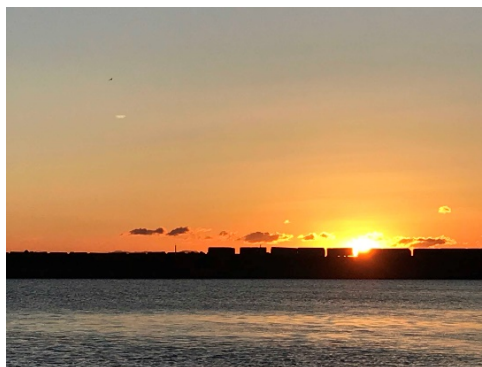
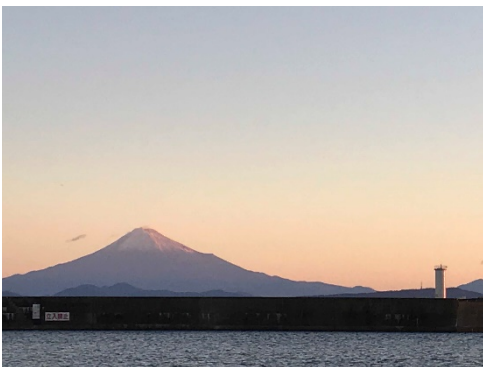
そして何より教材が充実しており全てが理に適っていると実感していました。前回の不合格時には市販のテキスト選びに書店へ何度も足を運び過去問題集・模擬試験問題集・直前予想問題集の選択にその都度苦慮していましたが、大原では全てが揃っているため、与えられた教材をコツコツやったお蔭で精神的に余裕が持てるようになりました。

テキストとトレーニング問題集とのリンクが絶妙であったこと、特に1問1答の○×式問題と解答解説は自分がどこまでテキストの内容を理解しているかが分かり、本試験直前まで繰返していました。トレーニング問題集は3回転～8回転解き込みました。

### ◆大原式「一発合格シート」で気合を！！

最初の1ヶ月近くは殆んど活用していませんでした（涙）。同じ教室に通学していた他の受講生の方が、毎回提出している光景を目にし、自分もルーティン化して行かなければこの状態のまま流されてしまいそうな気持ちになりました。自分もとにかく授業出席日の火曜日・木曜日に記入が無いままでもいいから提出しようと言ひ聞かせました。記入内容については計画倒れにならぬ様に自習した事実だけを記入して行こうと「一発合格シート」の活用をスタートさせました。毎日就寝前の記入を習慣とし、例え15分でもやった事実だけを正直に記入していきました。スタート直後は空欄も目立ち提出に躊躇いもありましたが、虚偽の記入だけは止めようと自分に言ひ聞かせながら、(今日もシートへの記入をしなければ)と思うようになり、自分には意外なほど効果がありました。中盤に入る頃には1日3行では足りない日も出てくるなどモチベーションも同時に上がって行くようになりました。

また逆算カレンダーも良い刺激となり、毎日記入していく楽しみが自分の中で芽生えてきた感覚を今でも覚えています。本当に「一発合格シート」は自分にとって最強のツールであり自己コントロールでき、時には沈着冷静になれるツールでありました。大原式忍術にやられました（笑）。



油井さんの地元である焼津市の小川港から望む令和3年の初日の出と富士山 撮影/ 石田俊一

## 『虎の巻 その三 “手裏剣の術”・・・民法（権利関係）は的を狙え！！』

### ◆大原式で的を絞った戦術を！！

前回試験では『権利関係』で失敗した教訓を生かし大原式攻略法を信頼して勉強した結果、41点で合格することが出来ました。とにかく『宅建業法』は20問全問正解を目指し、トレーニング問題集を8回転解き込みました。『法令上の制限』はテキストのマーカ部分及びアンダーライン部分を単語カードに落とし込み、教えて頂いたゴロ合わせを活用しながら呪文を唱え続けました。『権利関係』は最低8問+ $\alpha$ を目標に過去10年間の出題傾向より出題頻度の高い項目にピントを合わせ、また、講義で指導頂いた改正民法の要注意項目にフォーカスし深追いは避けながら学習しました。

最後に、一年前を振り返れば資格の大原静岡校にお世話になり本当に良かったと実感しています。今後は、コロナ禍ではありますが再就職を視野に入れながら微力ではありますが何か世の中のお役に立てる仕事に携われればと考えています。



(左) みごと合格された油井さん (右) 宅建士講座講師石田俊一

油井さんの今後、益々のご活躍を大原スタッフ一同祈念しております！